

令和3年度トップアスリート強化支援金制度の概要

愛媛県 観光スポーツ文化部 競技スポーツ課

愛媛県では、「スポーツ立県えひめ」の実現に向け、本県ゆかりのスポーツ選手の更なる競技力向上及びスポーツ振興を図るため、日本代表選手（高校選抜などの世代別代表や代表候補を含む。）として国内合宿や国外遠征等に参加する方に、強化支援金を支給します。

《支給対象者》

平成23年4月1日以前に生まれた者のうち、国体正式競技、オリンピック・パラリンピック・デフリンピック実施競技(※1)の**日本代表選手又は世代別日本代表選手（いずれも候補を含む。）に指定(※2)され**、国内合宿や国外遠征等に参加する者で、次のいずれかの条件を満たす者。

- ① 学校教育法第1条に規定する県内の学校（幼稚園を除く。以下「学校」という。）に在籍していること
- ② 県内の学校に在籍していたこと
- ③ 県内に在住していること
- ④ 本県競技団体に登録をしていること
- ⑤ その他知事が認める者

(※1) 国体正式競技（41競技）、オリンピック・パラリンピック実施競技（42競技）、デフリンピック実施競技（21競技）

陸上競技、水泳、サッカー（5人制サッカー）、テニス（車いすテニス）、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール（車いすバスケットボール）、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング（パワーリフティング）、ハンドボール、自転車競技、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング（車いすフェンシング）、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃（射撃）、剣道、ラグビーフットボール（車いすラグビー）、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレー射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン、スキー、スケート、アイスホッケー、近代五種、テコンドー、サーフィン、スケートボード、ボブスレー、リュージュ、カーリング（車いすカーリング）、バイアスロン、ボッチャ、ゴールボール、オリエンテーリング

※共通競技は重複表記。

※オリンピック実施競技におけるバスケットボール競技には、3人制バスケットボールを含む。

※オリンピック実施競技における野球（男子）・ソフトボール（女子）は、ソフトボールとする。

※オリンピック実施競技における射撃は、ライフル射撃とする。

※デフリンピック実施競技におけるサイクリング・マウンテンバイクは、自転車競技とする。

※（ ）はパラリンピックにおける名称。

※実施競技が追加された場合は、追加競技も対象とする。（対象から除外された場合は、強化支援金対象から除外する。）

※対象競技の詳細は、別紙『国体・オリンピック・パラリンピック・デフリンピックの実施競技』をご参照ください。

(※2) 中央競技団体（公益財団法人日本スポーツ協会・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会に加盟しているものに限る。）・JOC（公益財団法人日本オリンピック委員会）・JPC（日本パラリンピック委員会）から指定された場合に限りです。

《強化支援金の支給額》

- 国内合宿等に参加する場合：年1回 5万円
- 国外遠征等に参加する場合：年1回 10万円

「『オリンピック・パラリンピック等特別育成強化枠』について」

オリンピック・パラリンピック等に出場の可能性があるトップアスリートについて、競技実績に応じ、支援金の支給回数の上限を拡大します。

【日本代表選手】

区分	条 件
1	当該年度を含む過去3か年度に国際大会（オリンピック競技大会、世界選手権大会、ワールドカップ、アジア大会及びそれらと同等の国際的な規模のスポーツ競技大会をいう。（※1））に日本代表選手として出場した者
2	当該年度を含む過去3か年度に全国大会（国民体育大会、全日本選手権大会及びそれらと同等の全国的な規模のスポーツ競技大会をいう。（※1））でベスト4以上の成績を収めた者（団体種目においては、正選手として出場した者）
3	当該年度を含む過去3か年度に上記1の国際大会（※1）において、ベスト4以上の成績を収めた者

（※1）パラリンピック・デフリンピック実施競技については、上記各区分で示す大会と同等規模の大会を対象とする。

- 区分1及び2を満たす場合：国内合宿等参加及び国外遠征等参加に係る申請数を上限各2回に拡大。
- 区分3を満たす場合：国内合宿等参加及び国外遠征等参加に係る申請数を上限各3回に拡大。

【世代別日本選手】

条 件
当該年度を含む過去3か年度に国際大会（オリンピック競技大会、世界選手権大会、ワールドカップ、アジア大会及びそれらと同等の国際的な規模のスポーツ競技大会をいう。（※1））に世代別日本代表選手として出場した者

（※1）パラリンピック・デフリンピック実施競技については、上記で示す大会と同等規模の大会を対象とする。

- 上記条件を満たす場合：国内合宿等参加及び国外遠征等参加に係る申請数を上限各3回に拡大。

なお、特別育成強化枠での申請に当たっては、県で競技実績の審査を行いますので、別途、『オリンピック・パラリンピック等特別育成強化枠認定（競技実績）申請書』（様式第3号）の提出が必要です。

「申請から支給までの流れ」

- 1 合宿・遠征に参加する場合、令和4年3月18日（金）までに次の書類を提出してください。

① トップアスリート強化支援金支給申請書

※支給対象者本人が申請してください。ただし、支給対象者が未成年者の場合は保護者が申請してください。印鑑について、スタンプ印（シャチハタ印等）は不可です。

② 代表選手に指定されたことを証する書類（中央競技団体からの指定証の写しなど）

※書類がない場合は、事前にご相談ください。

③ 合宿または遠征に参加することが確認できる書類（中央競技団体の招集通知の写しなど）

- 2 県が申請内容を審査し、適当であれば後日、決定通知書を交付（郵送）します。
- 3 強化支援金は、口座振替により支給します。（別途、債権者登録の手続きが必要です。）

《参加実績報告》

合宿・遠征への参加終了後1月以内又は令和4年4月8日（金）のいずれか早い日までに、参加実績報告書（合宿・遠征に参加したことが確認できる書類を添付）を提出してください。※印鑑について、スタンプ印（シャチハタ印等）は不可です。

合宿の参加者名簿、競技大会の結果、競技団体が発行する参加証明書(様式は任意)など、合宿・遠征に参加したことが確認できる書類を必ず添付してください。

※書類がない場合は、事前にご相談ください。

《取消し及び返還》

合宿・遠征の中止や、選手本人の都合等により合宿・遠征に参加しなかった場合は、強化支援金の支給を取り消し、又は既に支給した強化支援金を返還していただく場合があります。

《書類の提出先》

愛媛県 観光スポーツ文化部 競技スポーツ課

- 郵送の場合 ⇒ 〒790-8570 松山市一番町4丁目4-2
- 持参の場合 ⇒ 松山市一番町4丁目2 NTTコム松山ビル1階（県庁前道路向かい側の建物）

《様式》

「愛媛県庁」公式ホームページからダウンロードできます。

- トップアスリート強化支援金支給申請書（様式第1号）
- 参加実績報告書（様式第2号）
- オリンピック・パラリンピック等特別育成強化枠認定（競技実績）申請書（様式第3号）

※ホーム > 教育・文化・スポーツ > スポーツ > 競技力の向上 > トップアスリート強化支援金制度について

【本件に関するお問い合わせ先】

競技スポーツ課 競技力向上グループ

TEL(089)947-5453 / FAX(089)947-5721

E-mail : kyogisports@pref.ehime.lg.jp

【別紙】

国体・オリンピック・パラリンピック・デフリンピックの実施競技

No.	競技・種別・種目	国体	オリンピック	パラリンピック	デフリンピック
1	陸上競技	○	○	○	○
2	水泳	—	—	—	—
	競泳	○	○	○	○
	飛込	○	○	×	×
	水球	○	○	×	×
	アーティスティックスイミング*	○	○	×	×
	オープンウォータースイミング*	○	○	×	×
3	サッカー〔5人制サッカー〕	○	○	○	○
4	テニス〔車いすテニス〕	○	○	○	○
5	ボート	○	○	○	×
6	ホッケー	○	○	×	×
7	ボクシング	○	○	×	×
8	バレーボール	—	—	—	—
	バレーボール〔シットイングバレーボール〕	○	○	○	○
	ビーチバレーボール	○	○	×	○
9	体操	—	—	—	—
	体操競技	○	○	×	×
	新体操	○	○	×	×
	トランポリン	○	○	×	×
10	バスケットボール〔車いすバスケットボール〕	○	○	○	○
11	レスリング	○	○	×	○
12	セーリング	○	○	×	×
13	ウエイトリフティング〔パワーリフティング〕	○	○	○	×
14	ハンドボール	○	○	×	○
15	自転車競技	○	○	○	○
16	ソフトテニス	○	×	×	×
17	卓球	○	○	○	○
18	軟式野球	○	×	×	×
19	相撲	○	×	×	×
20	馬術	○	○	○	×
21	フェンシング〔車いすフェンシング〕	○	○	○	×
22	柔道	○	○	○	○
23	ソフトボール	○	○	×	×
24	バドミントン	○	○	○	○
25	弓道	○	×	×	×
26	ライフル射撃〔射撃〕	○	○	○	○

No.	競技・種別・種目	国体	オリンピック	パラリンピック	デフリンピック
27	剣道	○	×	×	×
28	ラグビーフットボール〔車いすラグビー〕	○	○	○	×
29	スポーツクライミング	○	○	×	×
30	カヌー	○	○	○	×
31	アーチェリー	○	○	○	×
32	空手道	○	○	×	○
33	銃剣道	○	×	×	×
34	クレー射撃	○	×	×	×
35	なぎなた	○	×	×	×
36	ボウリング	○	×	×	○
37	ゴルフ	○	○	×	○
38	トライアスロン	○	○	○	×
39	スキー	—	—	—	—
	クロスカントリー	○	○	○	○
	ジャンプ	○	○	×	×
	コンバインド*(ルディック複合)	○	○	×	×
	シヤイアントスラローム(アルペン)	○	○	○	○
	フリースタイルスキー	×	○	×	×
	スノーボード	×	○	○	○
40	スケート	—	—	—	—
	フィギュアスケート	○	○	×	×
	スピードスケート	○	○	×	×
	ショートトラック	○	○	×	×
41	アイスホッケー	○	○	○	○
42	近代五種	×	○	×	×
43	テコンドー	×	○	○	○
44	サーフィン	×	○	×	×
45	スケートボード	×	○	×	×
46	ボブスレー	—	—	—	—
	ボブスレー	×	○	×	×
	スケルトン	×	○	×	×
47	リュージュ	×	○	×	×
48	カーリング〔車いすカーリング〕	×	○	○	○
49	バイアスロン	×	○	○	×
50	ポッチャ	×	×	○	×
51	ゴールボール	×	×	○	×
52	オリエンテーリング	×	×	×	○

※○…実施 ×…未実施

※〔 〕…パラリンピックにおける名称

- ・ オリンピックにおけるバスケットボール競技には、3人制バスケットを含む。
 - ・ オリンピックにおける野球(男子)、ソフトボール(女子)は、ソフトボールとする。
 - ・ オリンピックにおける射撃は、ライフル射撃とする。
 - ・ デフリンピックにおけるサイクリング、マウンテンバイクは、自転車競技とする。
- ※各大会で実施競技が追加された場合は、追加競技も対象とする。(対象から除外された場合は、強化支援金対象から除外する。)